



7/21・22

山本町の須賀神社で恒例の祇園祭りが開催されました。毎年夏休み前の第3土・日に開催されるこのお祭りは、参道沿いに露店が立ち並び、多くの子どもたちでにぎわいました。また本祭の日には5組の獅子舞が一斉に奉納されました。



7/27~30

とうや こちよう

北海道洞爺湖町との姉妹市町少年交流事業が行われ、市内小学校の6年生11人が参加しました。洞爺小学校の6年生と一緒に洞爺湖町夏祭りに行ったり、湖でのカヌー遊びやジンギスカンのバーベキューを楽しみました。また、北海道の大自然の中でのじゃがいも掘りや水耕栽培のトマトの収穫など、ふだん味わうことのない貴重な体験をしました。



7/22

第19回比地大地区花火大会が、比地大小学校で開催されました。大きな笹飾りに囲まれた会場では、各子ども会による元気いっぱいの踊りや歌が披露されました。また、大野原町の「ほほえみサークル」の皆さんによるさわやかなコーラスが夜空に涼しさを呼びました。祭りの最後を飾る打ち上げ花火は、「ドーン、ドーン！」と、迫力満点。会場の真上の空いっぱいに花火が広がるごとに、大きな歓声と拍手が鳴り響いていました。

# みとよHOT ほっとNEWS

今後の活動は、10月28日に「アイランドウォークイン 瀬戸内」(愛媛県大三島)を予定しています。

7/27・28



市体協レクリエーション部47人が、木曾駒ヶ岳(長野県中央アルプス、2956m)登山を行いました。あいにくの天候で、眺望は望めませんでしたが、さまざまな高山植物や残雪に触れることができました。帰りには妻籠などを観光し、楽しい時間を過ごしました。

第20回仁尾竜まつりが市役所仁尾支所周辺で開催されました。特設ステージでは、仁尾小マーチングバンドの演奏や踊りコンテストで盛り上がり、おまつり広場ではたくさんの屋台が建ち並び、地元海産物の鉄板焼きなどで訪れた人を楽しませてくれました。

8/4

メインイベントは稲わらと青竹でつくった雨乞い竜の「水浴ぶせ」。約130人の担ぎ手の「雨ごいじゃ」そーれ、水浴ぶせ」のかけ声にあわせ、沿道の見物客から一斉に水が浴びせられ、みんなずぶぬれになりながら、まつりは最高潮に達しました。





8/5

財田町の香川用水記念公園で「水辺の納涼祭」が行われました。水に親しみ、香川用水について理解を深めてもらうと毎年この時期に開催しています。人気は魚のすくい取りコーナーで、真夏の太陽が照りつける中、たくさんの親子連れでにぎわいました。



7/31

高瀬町総合体育館で男子プロバスケットボール・bjリーグ、高松ファイブアローズの公開練習とバスケットボールクリニックが開かれ、市内の中学校バスケットボール部をはじめ、男女約120名の生徒が参加し、プロの技を体感しました。

バスケットボールクリニックでは、ドリブルを中心とした基本練習をプロのコーチ・選手から直接教わり、参加した生徒は、「ドリブルがうまくてびっくりした。今後の練習に生かしたい」と、目を輝かせていました。



8/4

三野町の汐木地区では、子どもからお年寄りまでみんなが楽しんで地域の人と交流や親睦を深めたいと、昨年からは夏祭りを始めました。今年は、約100人が参加し、広場の中央にやぐらを組み灯りをつけて、40数年ぶりに復活した「盆踊り」を踊りました。近所に住んでいながら、忙しくて顔を合わす機会が少なくなっている今、昔からの伝統文化を子どもたちに伝えながら夜が更けるまで楽しみました。

8/11

第36回たくま港まつりが、詫間市民運動場とその周辺で開催されました。町内の園児や児童による「こども総おどり」で幕を開け、メインイベントの「舞い舞たくま踊りコンテスト」では、華やかな衣装に身を包んだ23連、約700人の踊り子がサンバのリズムに合わせて、暑さも忘れてエネルギーに踊りました。ステージの、「パバイヤ鈴木とおやじダンサーズ」の楽しいダンスや歌、トークで会場は一気に盛り上がり、ファイナーズの打ち上げ花火で、みとよの夏祭りを締めくくりました。

